

(その3)

工場又は事業場の名称	JFE スチール株式会社 東日本製鉄所(千葉地区)
------------	------------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2 9	3 9	5 4	3 9	3 9	3 4				

その他(19、29、39、49、59、99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

<対策1について> ドア部からのガス漏れが発生した際には、迅速にガス漏れを抑止する応急処置を行うことができる体制を構築、継続的に実施しております。
<対策2について> コークス炉のドアフレームを更新し、①ドアとフレームの間のソフトパッキン化、②炉体とフレームの間のライナー調整により密着性を向上させ、ドアからのガス漏れを抑制しました。
<対策3について> コークス炉装炭時のガスの安定燃焼のために装炭車内の燃焼装置を点検し、正常動作を確認しております。
<対策4について> 平成23年6月でVOCを使用していた溶接管工場を閉鎖いたしました。
<対策5について> 平成28年10月に6Aコークス炉更新工事が完了し、6A炉を立ち上げました。 平成30年6月に6Bコークス炉更新工事が完了し、6B炉を立ち上げました。 更新後はドアからのガス漏れが従来に比べて抑止されております。
<対策6について> 平成30年12月で5コークス炉を停止しました。5コークス炉からのベンゼン排出量がゼロになります。